

③ 第3委員会

「安心して子どもを育てることができるまちづくり」



それでは、第3委員会の意見を発表します。

第3委員会のテーマは、「安心して子どもを育てることができるまちづくり」です。このテーマについて考えるため、^{わたし}私たちは、8月1日に758キッズステーションの施設見学を行いました。

そこで、^{わたし}私たちは、758キッズステーションの代表的な設備を見ました。そして、^{きんこすい}金鯪水のいいところは、冷たい水がすぐに飲めるし、夏場では熱中しょうにもなりにくいので便利だと思いました。

また、男の人のトイレにもおむつがえのスペースがあることで、お父さんもおむつがえができて、お母さんの負担が減るので、よいと思いました。

このほかにも ^{わたし}私たちは、キッズパークと情報^{じょうほう}ガーデン、キッズライブラリーを見ました。そこで、子どもたちは楽しく遊び、お母さんたちは区ごとに子育ての情報^{じょうほう}が得られたり、育児のことを相談できるから、安心して育児ができ、便利で使いやすいと思いました。

その後、^{わたし}私たちは、施設見学をしてわかったことや思ったことをもとに、名古屋を「安心して子どもを育てることができるまち」にするためには何をすればいいのか考えました。

それでは、^{わたし}私たちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員

私は、もし758キッズステーションを知らない子育てに困っているお母さんのために、各町内に758キッズステーションのことが書いてあるポスターが張ってあったらいいなと思いました。

あと、758キッズステーションが名古屋に一つしかないので、たくさんあったらいいなと思いました。そうしたら、遠くから利用する人もたくさんいるので、758キッズステーションがふえたらいいなと思います。

私は8人兄弟です。お母さんは、子育ては大変だけど楽しいよと言っていました。私のお母さんみたいなお母さんが名古屋にふえたらいいなと思います。

○子ども議員

私は、第3委員会の「安心して子どもを育てることができるまち」にするために、意見が二つあります。

一つ目は、たくさんある施設の中で、便利な設備をどこにでも設置することです。男の人のトイレにおむつがえのシートを置いたり、金鯪水など冷たい水がすぐに飲めると、お母さんの負担も少なくなると思いました。

二つ目は、子ども同士が遊べるスペースをこれからもずっと続けてほしいと思います。なぜなら、赤ちゃん同士で遊んでいる間に、同じ親同士が気軽に相談できるからです。そうすることによって、子育てに関する問題が解決したり、子ども同士も仲よくなれると思ったからです。

○子ども議員

ぼくは、名古屋を安心して子育てができるまちにするために大切なのは、正しい情報じょうほうだと思います。今は少人数家族が多くなってきて、どう子育てすればいいかわからなかったり、たよれる人がいない場合があります。

そうした中で、施設しせつ見学したキッズライブラリーや情報じょうほうガーデンは、とてもいいと思いました。理由は、自由に子育ての本が見られるし、各区ごとの情報じょうほうが書かれたチラシがあるからです。そうしたサポートが安心して子育てができることにつながると思うし、もっと情報じょうほうを発信していくことが大切だと思います。

○子ども議員

私わたしが施設しせつ見学で思ったこと、感じたことは、遠くからでも利用する人がたくさんいて、キッズパークはお母さん方にとってとても大切な場所なんだなと思いました。

次に私わたしが思ったこと、感じたことは、赤ちゃんが物をさわって覚えていて、私わたしもこういう時期があったんだなと思いました。

最後に、聞いているお父さん方に伝えます。お母さんばかり子育てをおしつけるのではなく、お父さんも子育てをちゃんとしていてほしいです。なぜなら、お母さんの負担ふたんも軽くなるし、子どもと接せつする時間も長くなるので、子育てをしていてほしいと思います。

○子ども議員

^{わたし}私は、758キッズステーションを見学して、安心して子どもを育てるまち名古屋にするには、子どもが楽しく遊べる安全な場所が必要だと思いました。

758キッズステーションのキッズパークには、子どもが楽しく遊べるおもちゃがたくさんあります。そして、お母さんにとってもよいことがあります。^{せんもん}育児専門のカウンセラーがいつでもなやみを聞いてくれるので、一人なやまなくても相談でき、心強いと思います。

このようなことから、安心して子どもを育てるまち名古屋にできると^{わたし}私は考えます。

○子ども議員

ぼくは、758キッズステーションを見学してきました。その中でも便利だと思ったことは、^{きん こ すい}金鯪水といういつでも冷たい水を飲むことができるウォーターサーバーです。これは、名古屋市の水道局の水を^{ちよくせつ}直接冷やしているので、とてもおいしいそうです。ぼくも^{じっさい}実際に飲んでみて、とてもおいしかったです。しかし、このようなウォーターサーバーは名古屋に3台しか^{せっち}設置していないようなので、これからはさまざまな^{ほいくしせつ}保育施設などに^{せっち}設置されたいと思います。

○子ども議員

ぼくは、栄の758キッズステーションに^{げんば}現場見学で行きました。そこは、さまざまな子育てについての^{じょうほう}情報を得ることができるだけでなく、子育ての仲間もできて、楽しく^{じょうほうこう}情報交かんができる場所です。

今は、スマートフォンを持っている人が多いので、家にいても758キッズステーションが体験できるようなアプリをつくれば、名古屋はもっと安心して便利に子育てできるまちになると思います。

○子ども議員

ぼくは、「安心して子どもを育てることができるまち」にしたいです。そんなまちを目指す^{さい}際に必要なことは、いまだに名古屋市に3台しかない^{きんこすい}金鯊水をもっとふやしていくことと、男女両方のトイレにベビーベッドをふやしていくことです。

理由は、^{きんこすい}金鯊水は冷たい水がいつでも飲めることと、夏場では熱中^{よぼう}しょう予防にもなります。そして、ベビーベッドは、最近、お父さんによる子育てをする家庭がふえてきているからです。お父さんもおむつをかえれば、お母さんへの^{ふたん}負担が^へ減るからです。^{せつび}設備が便利になれば、「安心して子どもを育てることができるまち」になると思います。

○子ども議員

^{わたし}私は、758キッズステーションを見学して、小さい子を子育てしているお母さんたちに今^ほ欲しいサービスを聞いてみました。すると、気楽なたく児ができるといいなと答えてくださいました。

^{わたし}私は、ちょっとした^{かた}片づけや草むしりなどを近所の人とできると、少し気楽なたく児ができ、「安心して子どもを育てることができるまち」になると思います。そのためには、近所の人たちと交流会を開き、かかわりを深め合うことが大事だと思います。

○子ども議員

^{わたし}私が758キッズステーションを見学して思ったことは、子どもがみんなで楽しく遊べる^{しせつ}施設をつくる必要があります。そうすることで、子どもの友達もふえると思うし、子どもだけではなく、親同士でも仲よくなると思います。こういう^{しせつ}施設をたくさんつくることで、親子が安心して楽しく^す過ごすこともでき、子育ても楽になると思いました。

わたし

私たち第3委員会は、このようなことが名古屋を「安心して子どもを育てることができるまち」にするために必要だと考えました。

これで、第3委員会の発表を終わります。

■ 山田教育子ども委員長^{とうべん}の答弁

第3委員会のみなさん、素晴らしい意見発表をありがとうございました。第3委員会のみなさんには、「安心して子どもを育てることができるまちづくり」をテーマに、子ども委員長と子ども副委員長を中心に、きょうの意見発表に向けて議論^{ぎろん}を行っていただきました。

初めて顔を合わせたということもあり、最初はきん張^{ちやう}もあったかと思います。ただ、みんなで力を合わせて素晴らしい意見発表をつくり上げることができて、大変うれしく思っています。

初日に施設見学を行った758キッズステーションでは、施設^{しせつ}を訪れたお父さん、お母さんたちが利用しやすいように考えられたさまざまな工夫をしょうかいしていただいたほか、実際に施設^{しせつ}を利用されている方々へインタビューをさせていただくことで、子育てのお困^{こま}りごとについて生の声を聞くことができました。

そして、少子化^{はいけい}やかく家族化などを背景とした今の子育ての課題を学ぶことで、758キッズステーションのような施設^{しせつ}を初めとする子育ての応え^{おう}を行っていくことの重要性^{せい}について知り、考える貴重な機会^{きちやう}になったと思います。

きょうの発表では、施設見学で学んだことをもとに、「安心して子どもを育てることができるまち」にするためには、どうすればよいのか、たくさんの提^{てい}案^{あん}をいただきました。どの提^{てい}案^{あん}もとても重要なことで、大人の私^{わたし}たちも感心するものばかりでした。

さて、金鯪^{きんこすい}水、名古屋の水をたくさんアピールをしていただいたみなさん、ありがとうございました。そして、我々^{われわれ}、教育子ども委



員会の大人たちも、実は先日、名古屋市以外のこういった758キッズステーションのような、子どもの子育て支えんの施設に視察・見学に行ってきたところでもあります。きょうみなさんからご提案をいただいた、例えば男性のトイレにベビーベッドが、その施設にはありませんでした。そういった意味では、名古屋のそういった子育て施設、非常にいいなというふうに思った反面、その都市のキッズパーク、子どもの施設が4倍ぐらい、みなさんに見ていただいたキッズステーションの4倍ぐらいの広さがありました。名古屋のほうが市民の数が多い。なのに、そういった場所がせまいということは、これからの課題だなということも我々も気づくことができました。

いずれにしても、これからみなさんが大きくなっていく中で、いろんな経験、そして現場を見ることも重要であるということを感じていただいたかと思いますし、やはり直接現場でインタビューをすることにより、人の話を聞くということも非常に重要だということもみなさんに今回学んでいただいたんではないかなというふうにも思います。私たち大人の議員も、みんなの提案をしっかりと受けとめて、名古屋市が「安心して子どもを育てることができるまち」になるよう、精いっぱい努力していきたいと思います。

最後になりますが、浅野、鹿島両副委員長、指導主事の鈴木先生、758キッズステーションの職員さんなどのご協力があって、この3日間を有意義に過ごすことができましたことに感謝を申し上げ、私の答弁とさせていただきます。

みなさん、3日間本当によくがんばりました。おつかれさまでした。

